

県外研修に行ってきました

★★ 地域資源活用コース ★★



8月18日(月)～19日(火)に地域資源活用コース25名(2年次生9名、1年次生13名、職員3名)が、①「kobe sweets garden」6次産業化調査 ②丹波のヤマノイモ現地調査 ③大阪市中央卸売市場での視察研修を行いました。

農産物の生産にとどまらず、加工、販売まで行う6次産業化が話題となる中で、神戸市では、一農家だけでは全てをまかなうのが難しいということもあり、大学生や企業と連携して商品開発を行っています。また、大阪市中央卸売市場では、関西に住む数千万人の日々の生活を支えている市場の役割や流通のしくみ等について学びました。(reported by Okuda)



今回の視察研修では学生相互の交流も深まり、コースの結束ができました!

特別講義開催 8月20日(水)

本科生と研修科受講生を対象とした特別講義として、グリーンリーフ(株)代表取締役及び(株)野菜くらぶ代表取締役の澤浦彰治氏をお招きし、「農業経営における経営戦略と人材育成の重要性について」と題した講演会を開催しました。

澤浦氏が実践する経営理念やこれからの経営戦略の紹介後、「人が究極、唯一の経営資源である。」と締めくくられ、本科生にとっては就農後の農業経営、あるいは人材育成に対する考え方、また就職先の決定に関して大いに参考となることでしょう。(reported by Endo)



四国農大「農業経営力養成講座」



四国4県の農業大学の学生が農業の可能性について学ぶ「農業経営力養成講座」が「大歩危祖谷阿波温泉・あわの抄」(三好市池田町)で開催され、各県から集まった20名の学生が、2泊3日で座学や意見交換などを行いました。

本校からは、2年次生の大岡舞さん、山本晃平さん、濱貴仁さん、赤澤圭さん、金喜勝美さんの5名が参加。青山学院大学三村優美子教授の「食農連携とマーケティング」、こと京都(株)代表取締役山田敏之氏の「地域と共に商品を作ること」、(株)いりどり代表取締役横石知二氏の「次世代の農業経営者への期待」と題した講演を受けました。グループワークでは「講義の振り返り」、「四国の地域資源と販売戦略」等について協議がなされ、それぞれの考えやアイデアが、プレゼンテーションにより共有されました。

濱貴仁さんは、「たいへん有益な研修だった。就農したら、農作物が消費者等のコミュニケーションツールとなるよう、生産管理の状況についてしっかりとストーリーを伝えていきたい。」と感想を語りました。(reported by Mukai)



★★ 農業体験学習報告会 ★★

9月24日(水)



農大生には、全校生と職員を前に、学んだことや研究したことを発表する機会が4回(以上)あります。今回は、1年次後期より行われた先進農家・企業での農業体験学習の成果を発表する場です。4期(各5日以上・合計20日以上)における農家や企業での実習内容、そこで行われている先進的な取組、創意・工夫、そして経営状況等について、パワーポイントを使って6分以内でプレゼンテーションを行います。その後、1年次生や先生方からの質疑に答えます。

学生は、農業体験学習で学んだ知識や・技術をわかりやすく説明することができました。また、自分の卒業研究課題と絡めた発表や、更には昨年度は踏み込めていなかった研修先の経営の仕組み、販路、流通等の詳細についての高度な発表も多く見られました。

発表内容・態度共に年々進歩しており、1年次生に対しても、多くの発表モデルを示唆できた報告会でした。(reported by Okuda)

- ① 体験し
- ② 省察し
- ③ 発表し
- ④ 共有する

